

協育



N

E

W

S

会報誌 4号

発行日：2013年（H25年）4月4日発行

発行者：NPO 法人

大分県「協育」アドバイザーネット

NPO 法人2年目！ よろしくお祈いします。

顧問（大分大学高等教育開発センター教授） 中川忠宣

本会がNPO 法人となって2年目の年になりました。県教育委員会が提唱・実践してきました「協育」の取り組みを、大分大学も引き受けて「リーダーの育成とネットワークづくり」を目指して、研修と会員の組織化を進めてきました。第4期生までの受講生も98名となり、内72名がNPO 法人大分県「協育」アドバイザーネットの会員となっていただくなど、ネットワークを広げ続けています。本会の会員は元々地域で活動されている方々であり、そうしたリーダー的な存在の方が、他の種類の活動の方々ともネットワークを作ることによって、自分たちの活動をより充実することを目指しています。そうした趣旨を基本にして、本会の理事の方々が2年目以降の活動方針を検討されていますので、大分大学としての所期の目的に向かって、みなさんと共に連携していきたいと思っています。

なお、本会の方向性については、同封の「協育事例集 教育の創造 第2巻 P42～」に詳細を掲載していますのでご一読いただければ幸いです。

お知らせしたいこと

☆平成25年度総会の日程のお知らせ☆

NPO 法人大分県「協育」アドバイザーネットの平成25年度の総会を下記のとおり行いますので事前に日程を入れていただきますようお願いいたします。NPO 法人としての無我夢中の出発でしたので、今回の総会において様々な提案・議論をしたいと思っています。内容及び出欠確認を事前に配布させていただきますのでよろしくお願いいたします。

日時：2013年6月2日(日) 13:30～

会場：(予定) 大分大学旦野原キャンパス教養教育棟

☆平成25年度第32回「生涯教育実践研究交流会」のお知らせ☆

福岡県篠栗町にある福岡県立社会教育総合センターで開催されます交流会が、今年は以下の日程で開催されます。別添の資料を参考にさせていただいて、是非ご参加をいただければと思っています。

期日：5月19日<金>は前夜祭・20日<土>（実践発表）・21日<日>（特別企画）

会場：福岡県立社会教育総合センター（福岡県粕屋郡篠栗町金出）

★★第6回地域発「活力・発展・デザイン」実践交流会報告★★

2月23日（土）・24日（日）の2日間、国東市安岐町の「梅園の里」で開催され、今年も10事例が報告されましたが、本会からは以下の方に報告していただきました。

○「大学生による読み聞かせボランティアの実践」（読み聞かせ「結（ゆい）」）

発表者：大分大学生 松尾美幸さん 外池夏子さん

○「子どもの読書推進について」

発表者：読み聞かせ・学校図書館司書 安倍元子さん

○「自分らしく生きられる社会を目指して」

発表者：NPO法人 共に生きる 江藤裕子さん

「協育」事例集 教育の創造（第2巻）

大分大学高等教育開発センターが発刊する事例集は、本会が編集を受託して「協育」という視点からの大分県内の研究や実践、行政としての事業、大分大学高等教育開発センターの取り組みなどを掲載しています。その第2巻が完成しました。原稿を投稿していただきました方々に深く感謝します。こうした年1回の冊子への投稿だけでなく、子どもたちを育てるための様々な活動を紹介し、繋いでいくことを目的にしたNPO 法人大分県「協育」アドバイザーネットや大分県「協育」ポータルへ、みなさんが作成した地域の活動のチラシやポスターなどのデータをお送りください。お待ちしております。

平成24年度「協育」アドバイザー養成講座終了



3月16日・17日に開催された4期生中級編の参加者

9月25日・26日の佐賀県嘉瀬への3期生上級研修

* 平成24年度「協育」アドバイザー養成講座が終了しました *

平成24年度は、4期生を迎えての講座でした。だんだん増えていくメンバーを、嬉しく、頼もしく思いながら、事務局も積極的に参加させていただきました。(文科省〈月刊「生涯学習」5月号に掲載〉)

第4期生基礎編：平成24年11月23日(金)〈県立社会教育総合センター〉

受講者数：15名(別途、公開講座生が36名参加)

研修内容〈詳細は「協育事例集第2巻のP33～を参照ください〉

講義①東京都杉並区立杉並第小学校学校支援本部長 伴野博美さん

～学校支援地域本部の取り組みと、学校運営協議会・PTA・放課後子ども教室等の連携～

講義②特定非営利活動法人スクール・アドバイス・ネットワーク理事長 生重幸恵さん

～子どもの「生き方」の学びを支える地域の教育資源と大人の役割～

協育見本市～ワールドカフェ

テーマ：「学校(がっこう)を合校(がっこう)に！そして、楽校(がっこう)へ！」

受講生の感想(一部)

- ・講座を受講して、コミュニケーションの大切さを再確認させられました。いろいろな得意分野を持ち寄り、ネットワークを形成すれば、1人では限界になる活動がネットワークで実現できるように思いました。
- ・「学校の教育目標に沿った活動、また、年齢、学年に合った内容の活動プログラムを作る」という話が、とても参考になりました。講師の先生方のお話は、聞いていてワクワクすると同時に、とても大切な(「協育」を進めていく上で)言葉がありました。その言葉を胸に刻んで活動をしていきたいです。
- ・「協育」の意味を理解して、それをどういう方向で活動としてやっていくかを考えると難しいですが、養成講座での研修をさせていただくことで、より深く理解が出来、方向性を少し感じる事が出来ました。来年は是非上級編に参加させていただきます。宜しくお願いいたします。

第4期生中級編：平成25年3月16(土)・17日(日)〈大分大学〉

受講者数：11名(別途、本会の役員6名参加)

研修内容

①家庭教育、学校教育、社会教育の現状と「教育の協働」の重要性の講義

②「協育」を推進するコーディネーターの実際とプログラム作りの演習、プラットホームの役割の講義

受講生の感想(一部)

- ・市町村配置の「協育」コーディネーターに学習してほしい内容ばかりでした。特に、「待ち」の姿勢から「攻め」のコーディネーターに転換し、学校の求めに対して逆提案できる力量が必要だと思えます。そのため、学校教育に対する知識を深めることが不可欠だと思えます。県社会教育行政がリードし、コーディネーターに「何を」「どこまで」求めるのか今こそ必要です。
- ・久留米でまずはPTA内に入り調整しようと思えます。園活動や、町活動にも具体的にテーマをつくりかならず久留米でこの「協育」を広めたいと思えます。2日間だと、受講メンバーとも仲良くなれてとても楽しかったです。久留米の仲間にも共有させていただきます。

第3期生上級編：平成24年9月25(火)・26日(水)〈佐賀県佐賀市嘉瀬〉

- ・3期生と理事で、佐賀県佐賀市嘉瀬公民館・嘉瀬小学校を視察し、KSVN(嘉瀬小学校ボランティアネットワーク)との交流をしました。夜の懇親会も嘉瀬の多くの方に参加していただき、盛り上がりました。

〈編集後記〉 会報にてご紹介できる記事は、紙面の都合で限りがありますが、少しずつ各会員さんの地域での活動なども紹介していけたらと思っていますので、次回もお楽しみに～！(掲載希望も随時受付中)

そして、ひとつお知らせです。本会が24年度に大分県より受託した「平成24年度地域ネットワーク版協働型委託事業」にて取り組んだ『泉都協育プロジェクト事業』について、詳細をまとめた「成果報告書」が完成しました。同封しておりますので、ぜひご一読ください。本会のホームページの新着情報からも閲覧できます。

広報担当(副理事長) 山本美咲